

自立支援・重度化防止の取組報告書

法人名	医療法人〇〇	事業所名	介護老人保健施設〇〇苑	
サービス種類	介護老人保健施設	事業所住所		
取組分野		取組期間	令和6年7月1日	令和7年6月30日
☒ 機能訓練 ☒ リハビリテーション ☐ 口腔ケア ☐ 栄養ケア ☐ その他（ ）				
自立支援・重度化防止の取組（概要）				
LIFEから提供されるフィードバック情報を活用し、①独自フィードバック票による情報共有②利用者様個人のニーズや可能性にあわせたケアプランの検討 を行い、利用者様の生活の改善に繋げる。				
			写真等	写真等
自立支援・重度化防止の取組（具体的内容）				
タイトル	LIFEからのフィードバック情報を活用した利用者様にあわせたケアの改善			
きっかけ（経緯）	ケアを継続的に改善していくための取組方法を検討する中で、LIFEからのフィードバック情報を活用することができると考えた。			
取組の特徴	LIFEからのフィードバック情報の活用			
内容、事例（詳細）				
【取組内容】 ①知りたい情報を視覚的に把握しやすくするために、LIFE 等のデータを活用して独自フィードバック票を作成している。 LIFEへ登録するデータは、「している」を評価するものである一方で、利用者様への介入を検討するには「できる」を評価することも重要であると考え、LIFE へ登録しているデータに加えて、「できる」を評価して介護ソフトへ記録し、それらの情報をもとにして独自データベース及びフィードバック票を作成している。 作成したフィードバック票は、事業所内や利用者様・ご家族との情報共有に役立てている。 ②フィードバック情報をもとに自施設の課題を抽出、現場職員と共有し、改善のための検討を進め、実際に施設の取組に反映している。 月に1回のリーダー会議で、フィードバック情報から自事業所の平均値と全国の平均値を確認し、全国の平均値と比較して低い項目を中心に、施設内の今後のケアの方針を検討。 【成果】 ①知りたい情報を把握しやすくなり、事業所内および他事業所と状態を共有しやすく課題解決に取り組むことができています。 フィードバック票を用いて利用者様やご家族に説明しており、視覚的にわかりやすいと好印象で、利用者様ご本人の意欲の向上にもつながっている。 ②フィードバック情報をもとに、これまでの事業所の取組を振り返り、見直す中で「ご本人が何をどこまでやりたいのか」「どのようなニーズがあってそのケアを提供するのか」等を 現場職員が自ら深く考えるようになり、ご本人のニーズをくみ取ったうえで、どのような自立支援ができるか、という視点でもケアプランを作成できるようになった。 利用者様個人の可能性やニーズに着目することで、利用者様ご本人の意欲の向上につながっている。				
				取組、分析結果の 図表、写真等

自立支援・重度化防止の取組報告書（参考欄）

法人名	医療法人〇〇	事業所名	介護老人保健施設〇〇苑
サービス種類	介護老人保健施設	担当者職氏名	
電話番号		メールアドレス	
取組内容	☒ 機能訓練 ☒ リハビリテーション ☐ 口腔ケア ☐ 栄養ケア その他（ ）		

取組期間中の区分変更者の状況

① 取組期間中の区分変更者の状況（事業所全体）

利用者 状況	期間中の 区分変更者	変更・更新後の要介護度等				
		維持	改善	2段階以上 の改善		〔悪化 （参考）〕
要支援1						（ ）
要支援2	2	1	1			（ ）
要介護1	3	2				（1）
要介護2	3	1	2			（ ）
要介護3	2	1		1		（ ）
要介護4						（ ）
要介護5					指標	
合計	10	5	3	1	1.40	（1）

② 取組期間中の区分変更者の状況（報告対象者）

※ユニット、利用者個人などの対象者を限定した取組報告の場合は、こちらも記載してください。

利用者 状況	対象利用者 （※）	変更・更新後の要介護度等				
		維持	改善	2段階以上 の改善		〔悪化 （参考）〕
要支援1						（ ）
要支援2						（ ）
要介護1						（ ）
要介護2						（ ）
要介護3						（ ）
要介護4						（ ）
要介護5					指標	
合計	0	0	0	0	#DIV/0!	0